



**日** 本自動車会議所は11月16日、静岡県駿東郡小山町にある富士モータースポーツフォレストにおいて国内施設視察会を開催しました。参加者は、同フォレスト内にあるトヨタ交通安全センター、モビリティでの安全運転実技講習を受けた後、昨年オープンした富士モータースポーツミュージアム及びブルーキーレーシングガレージを見学しました。視察会には全国から17名が参加しました。

視察会は午前と午後に分けられ、午前モビリティでの交通安全実技講習が行われました。講師から安全運転の意識の確認と運転席からの視界（死角）確認のレクチャーを受けた後、参加者は実際にクルマに乗り込んで走行。正しい運転姿勢の習得、雪道を再現した低ミュー路でのブレーキング、高速走行からの急ブレーキなどを体験しました。クルマの限界に挑戦することなどにより、参加者の安全意識の向上につながっただけでなく、安全運転技術の大切さを改めて認識しました。

実技講習の後、モータースポーツとホスピタリティの融合をコンセプトとした富士スピードウェイホ

テルでの昼食をはさんで、午後は富士モータースポーツミュージアムに移動。昨年10月にオープンしたばかりの同ミュージアムにおいて、国内外の自動車メーカー10社の連携による世界のレーシングカー40台の展示や名車などを見学しました。自動車が生じてから130年にもわたるモータースポーツの歴史を通じ、日々進化し続けるクルマとそのテクノロジーを体験しました。

最後に富士モータースポーツミュージアムに隣接するウエルカムセンターおよびブルーキーレーシングガレージにて、レースカー実物の展示やエンジニア、メカニックの作業を間近に見学するなど、レースを身近に感じることができました。

参加者からは「実技講習ではとても貴重な体験ができ、今後の運転に役立ちます」や「ミュージアムではモータースポーツの歴史＝クルマの歴史ということを知り、これに携わる人たちの思いや技術に興味がありました」との感想が聞かれるなど、ご協力いただいた富士モータースポーツフォレストの関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。



モビリティで雪道を再現した低ミュー路でのブレーキング体験



富士モータースポーツミュージアムで名車などに見入る参加者